津別町の今後の展開:短期ロードマップ

津別町では、地域資源を有効活用する仕組みづくりのために、地域内エコシステムの構築を目指します。地域 内エコシステムの構築にあたっては、令和元(2019)年度に整理した「4つの柱」を段階的に整理しながら実行 していきます。

地域内エコシステムの構築に向けた「4つの柱」



木質バイオマスセンター

「林地未利用材」の利用体制を整備し、地域の木質バイオマスの利活用によるエネルギーと経済の域内 循環、森林整備の促進(造林作業の負担軽減、食害抑制、森林所有者への金銭的な負担軽減)を目指しま す。令和3 (2021) 年度では、木質バイオマスセンターの建設に向けた準備を実行し、令和4 (2022) 年度に建設と試験運転、令和5(2023)年度に稼働を予定しています。

つべつウッドロスマルシェ

1柱と関連し、森林整備に資する「林地未利用材」の有効活用と収集する仕組み及び森林所有者への利 益還元と森林所有者・地域住民の気運醸成の場づくりの構築を目指します。令和3(2021)年度では、 地域住民等への勉強会や実践講習会を開催し、気運醸成を図りながら、令和4(2022)年度には本格稼 働を予定しています。

(仮)津別町再生可能エネルギーマネジメントセンター

再生可能エネルギーの利用施設の増加に伴い、エネルギーの維持・管理等を担う公民連携の組織を設置 し、誰でも気軽に相談できる窓口の構築を目指します。令和3~4(2021~2022)年度では、再生可能 エネルギーマネジメントセンターの設立準備(運営主体、担い手の整備と対策等、業務内容の精査)を行 いながら、木質バイオマス等の普及啓発を予定しています。

木質ボイラー導入可能性調査

木質バイオマスと木質ボイラーの利用促進と普及啓発を目指します。1柱に関連し、木質バイオマスセ ンターで製造された木質チップを利用する施設の導入可能性を令和元(2029)年度に探り、令和2 (2020)年度では導入可能性の精度向上を行いました。令和3(2021)年度以降は関係各位と合意形成 を図りながら、導入に向けた準備(設計等)を予定しています。

【発行・お問い合わせ先】

北海道津別町 産業振興課

〒092-0292 北海道網走郡津別町字幸町41番地

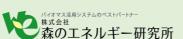
津別町役場 産業振興課 再工ネ推進係

TEL: 0152-76-2151 FAX: 0152-76-2976

【協力】

「地域内エコシステム」構築事業 事務局







津別町のイメージキャラクター まる太くん

北海道津別町「地域内エコシステム」モデル構築事業



津別町「地域内エコシステム」の構築に向けて

津別町では、「津別町モデル地域創生プラン」の推進を加速化させるため、地域資源である木質バイオマスを 活用し、資源・エネルギー・経済の持続的な地域内循環の仕組みづくり「地域内エコシステム」の構築を目指し ています。

令和元(2019)年度に引き続き、令和2(2020)年度も津別町の「地域内エコシステム」の構築を目指し、原 料供給(川上)、燃料製造(川中)、エネルギー利用(川下)の持続可能な実施体制(サプライチェーンの構 築)と本プランに掲げている「再生可能エネルギー等の導入促進」として公共施設の木質バイオマスボイラーの 導入可能性及び「(仮)津別町再生可能エネルギーマネジメントセンター」が運営の組織となる「木質バイオマ スセンター|の建設について、津別町森林バイオマス利用推進協議会において検討・協議を行っています。

モデル地域創生プランとともに育む環境のまち・つべ

津別町森林バイオマス利用推進協議会 構成委員

【委員(オブザーバーも含む)】 津別町 津別地区林業協同組合 北見広域森林組合 津別単板協同組合 津別建設業協会 津別町農業協同組合 津別町ペレット協同組合 北海道森林管理局網走南部森林管理署 オホーツク総合振興局産業振興部 商工労働観光課 林務課 東部森林室兼西部森林室 網走地区農業改良普及センター 美幌支所 【アドバイザー、協力機関等】 丸玉木材株式会社 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 ● エネルギー・環境・地質研究所 資源エネルギー部

- エネルギー利用グループ
- 林業試験場 森林経営部経営グループ
- 林産試験場 利用部バイオマスグループ
- 北方建築総合研究所 建築研究部建築システムグループ

✓ 津別町 産業振興課

プランA:公共施設等への再生可能エネルギーの導入

- 西町団地プロジェクト【平成28年度完成】
- 公営住宅の木質バイオマスによる集中暖房システム
- 再生可能エネルギー等の導入促進
- 既存公共施設等における熱利用設備の木質バイオマスポイラーへの転換
- まちなか再生プロジェクト
- 役場庁舎の複合化に伴う、木質バイオマス等の再エネシステムの構築

プランB:公民連携による木質バイオマスを活用した熱エネルギーの供給

- 津別町再生可能エネルギーマネジメントセンター(仮)の設置
- 再生可能エネルギー導入のマネジメントを請け負う公民連携事業体の設置
- 林地未利用材の流通システムの構築
- 運材方法、チップ化の作業工程における経済的システムの検証と事業化 農業用ハウス熱エネルギー供給プロジェクト
- JAつべつ・農業法人等と連携した再エネ活用による施設園芸の実現
- ※ 令和2 (2020) 年度「地域内エコシステム| モデル構築事業 (林 野庁補助事業)に応募し、全国18地域のうちの1地域に採択され、 上記プランの実現に向けて、協議・検討しました。

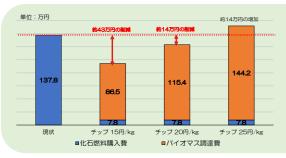
津別町モデル地域創生プランで取り組む事業内容

津別町の再エネ取り組み簡易年表



※ 令和3(2021)年度以降に、木質バイオマスセンターの建設およびつべつ木材工芸館「キノス」へ のチップボイラー(仮)の導入を想定しています。

木質バイオマス導入施設(令和3(2021)年3月末現在): 既設・新規予定



つべつ木材工芸館「キノス」に木質バイオマスの チップボイラーを導入すると、化石燃料を購入してい た時よりも、チップ購入価格が15円/kgの時には約43 万円、20円/kgの時には約14万円も化石燃料購入費用 を削減できることがわかりました。

また二酸化炭素排出量は34 t-CO2を削減することが でき、地球温暖化防止へ貢献することが可能です。

津別町のサプライチェーンの構築に向けて

津別町では、地域資源である木質 バイオマスの利活用をとおして、地 域の基幹産業である林業を促進させ、 地域資源やエネルギー、持続的な域 内経済循環を図ることを目標として います。

津別町内の山林から産出される追 上材や枝条といった「林地未利用 材」の利用体制を整備し、木質バイ オマスの利活用の促進及び収入増加、 再造林時の作業負担の軽減と野生動 物の食害抑制、森林所有者への金銭 的負担を軽減し、適正な森林整備と 里山整備を目指すことで、津別町の サプライチェーンの構築につながる と考えています。

令和2(2020)年度では、木質バ イオマスセンターの建設、つべつ ウッドロスマルシェの仕組み、旧本 岐中学校跡地のグランドの有効活用 について、検討・協議しました。

川下【エネルギー供給】 川中【燃料製造】 【既存】ペレット製造施設 泰林整備等により春材搬出 製造する燃料【木質ペレット】 ▶ 民有林 ◇ 国有林(協力) ◆ 町有林 ◇ 道有林(協力) 木雷ペレット利用 ◆ 既存の販売先へ流通 ◆ 公共施設、民間施設など 供給予定の素材【追い上げ材】 رننن 【新規事業】 【新規設備】 つべつウッドロスマルシェ 木質バイオマスセンター 原木供給 ◇ エネルギー用チップ ◇ 中間処理施設としての ◇ 木の駅プロジェクト ・家畜敷料 ◇ 域外も見据えた販売を検討 の実施想定 ◇ 木質バイオマスセンター内に設置 【新規】旧本岐中学校 跡地 製造する燃料【木質チップなど】 薪 販売(想定) ◇ 中間土場として活用 ◇ 原木乾燥・ストックヤードの役割 ドンコロなど チップ加工 ◇ 必要としている消費者へ販売 キャンプ用薪 ・スウェーデントーチ など 【新規】(仮称)再生可能エネルギーマネジメントセンター

津別町の目標とする地域内エコシステムのサプライチェーン

◇ 新規・既存の熱エネルギーの維持・管理等を行う組織

平成19(2007)年度

- ・津別町バイオマスタウン構想策定
- 丸玉木材株式会社(津別単板協同組合) バイオマスエネルギーセンター運用開始

平成21(2009)年度

- 津別町木質ペレット製造施設稼働
- ・役場庁舎等公共施設にペレットボイラー 3台導入

平成23(2011)年度

・津別町森林バイオマス利用推進協議会設置

平成24(2012)年度

・津別町森林バイオマス熱電利用構想策定

平成26 (2014) 年度

・認定こども園にペレットボイラー導入

平成27(2015)年度

・津別町モデル地域創生プラン策定

平成28 (2016) 年度

・西町団地に熱供給システムを導入 (ペレットボイラー1台)

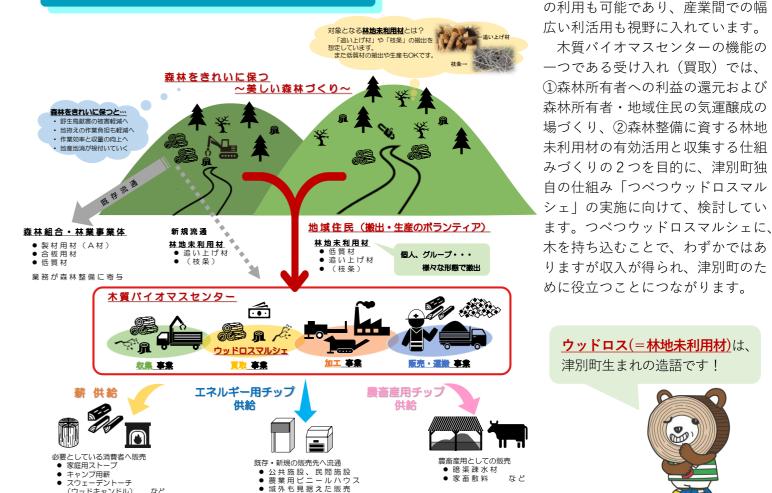
令和2(2020)年度

- ・役場新庁舎にペレットボイラー1台導入(予定)
- ・消防新庁舎にペレットボイラー1台導入(予定)



木質バイオマスセンターのイメージ:製品製造加工設備

つべつウッドロスマルシェの実施に向けて



津別町生まれの造語です!

ウッドロス(=林地未利用材)は、

津別町では、令和元(2019)年度

から引き続き、地域内エコシステム

の構築の核となる「木質バイオマス

センター」の設立を準備しています。

木質バイオマスセンターは、地域

資源である木質バイオマスを利用し、

収集・受け入れ(買取)・チップ加

工(薪含む)・販売・運搬等を行う 一手に担う設備として機能する予定

です。また、これを運用するのが

(仮) 津別町再生可能エネルギーマ

ネジメントセンターであり、公民連

木質バイオマスセンターで製造さ

木質バイオマスセンターの機能の

れた製品は、林業のみならず農業へ

携の組織を目指しています。



つべつウッドロスマルシェのイメージ